

品番
TJS-SUI-SN
TJS-SUI-SNC

カウンターオンタイプ浄水器

クリンスイ 据付説明書

給水一次側配管との接続および検査は管工事業者に依頼してください。
器具をシステムキッチンに取り付ける作業は、システムキッチン取付設置業者で実施することができます。

●据付される方へお願い
この器具を正しく安全に設置いただくために、「据付説明書」を必ずお読みになり作業を行ってください。

1. 安全上の注意

ここに示した注意事項は、お守りいただかない場合、重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

△ 注意

据付業者の設置不良による不具合、または使用者が取り扱いを誤った場合に使用者が
責任を負う、または物的損害の発生が予想される内容を示しています。

① 配管工事はすべて建築基準法、水道法、各都市の条例規定に準じて行う。

② 水道水の飲用基準に適合した水を使用する。

温泉水、井戸水など異物を多く含む水にはご使用になれません。

③ 凍結の恐れのある場所には設置しない。

寒冷地の場合は、本紙3. 配管接続の手順「寒冷地における取り扱いについて」を参照ください。

④ 必ず同梱の各部品をセットで使用する。

⑤ ホーロー、天然石のシンク天板に穴を開ける場合は、キッチンメーカーに相談する。カウンターの適合穴径は36~40mm、天板厚は4~25mmです。

適合寸法以外で取り付けると、家財を傷つけたり、

水漏れにより財産損壊発生のおそれがあります。

天板 36~40mm
4~25mm

●据付に必要な工具は、ドライバー、スパナ（2本）、ホールソー（ドリル）です。

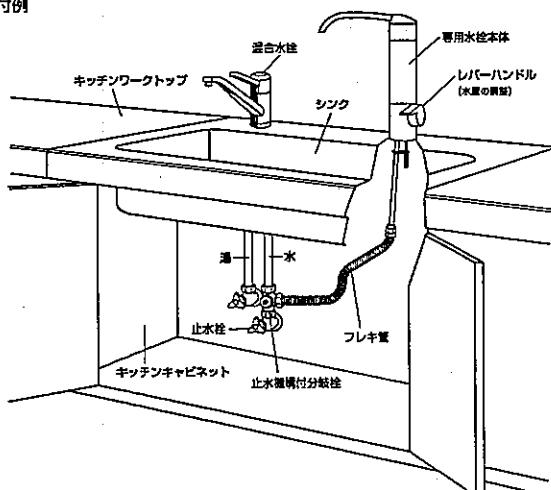
2. 設置条件

本器具の使用可能配水管圧力(静水圧)は0.07~0.75MPa (0.7~7.5kgf/cm²)、常用使用圧力(動水圧)は0.07~0.35MPa (0.7~3.5kgf/cm²)です。

△ 配水管圧力(動水圧)が0.35MPa (3.5kgf/cm²)を超える場合、市販の減圧弁で0.2MPa (2.0kgf/cm²)程度に調節してください。

4. 器具の据付

●取付例



カートリッジキャップを
外した場合

カートリッジ品番：TJS-TC-N13

交換カートリッジは3個入りの
カートリッジ品番：
TJS-TC-N13T
の形になります

1. 専用水栓本体 取付場所の選定

①シンク上（キッチンワークトップ上）

●専用水栓本体は障害物がなくレバー操作スペースが確保できる場所に設置してください。

●専用水栓本体は、専用水栓本体を支えられる場所に設置してください。

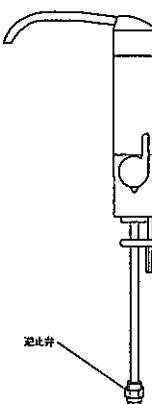
②シンク下（キッチンキャビネット内）

●専用水栓本体、止水栓の各々がフレキ管で接続できる場所に設置してください。

●各部材は、既設の記者にぶつからない場所に設置してください。

3. 梱包部品 最初に下記内容部品がそろっているかご確認ください。

① 浄水器一体型水栓 1本



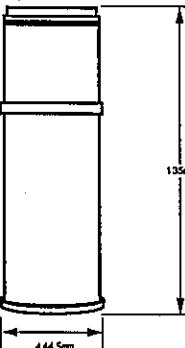
逆止弁
逆止弁には逆止弁は含まれません。

③ 止水機構付分岐栓 1個

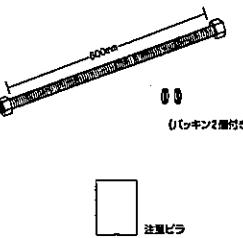


（パッキン1個付き）

④ カートリッジ 1個
(品番：TJS-TC-N13)



② フレキ管 1本

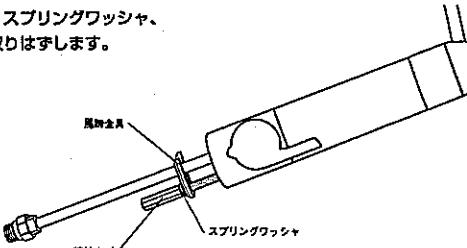


（パッキン2個付き）

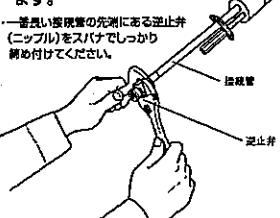
⑤ 据付説明書／取扱説明書
／保証書／録込シール
／カートリッジ交換日シール

2. 専用水栓本体の取付・設置方法

① 締付ナット、スプリングワッシャ、
馬蹄金具を取りはずします。

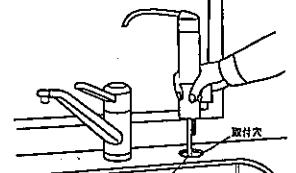


② 逆止弁を専用水栓本体にしっかりと接続します。

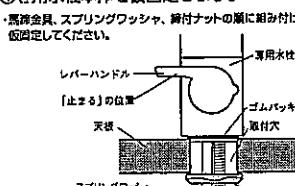


③ 専用水栓本体を接続管に注意して取付穴に差し込みます。

・昔良い接続管の先端にある逆止弁
(ニップル)をスパナでしっかりと
締め付けてください。



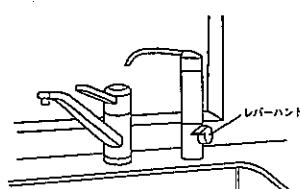
④ 専用水栓本体を仮固定します。



⑤ 専用水栓本体を固定します。

・原則として、レバーハンドルの位置が右側にくるようにして、
締付ナットを締め付けてください。締め付けにはスパナ等
(13mm)をご使用ください。

・締付トルク2N·m以上で締付してください。



△ 注意 専用水栓本体を固定する前に取付穴側面の汚れを
取り除いてください。

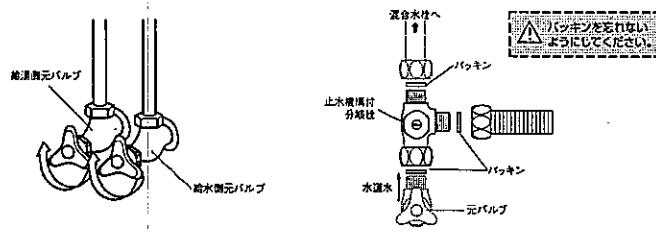
△ 注意 レバーハンドルは「止まる」の位置にしてください。

△ 注意 固定後、専用水栓本体がぐらつかないことを確認する。

3. 配管接続の手順

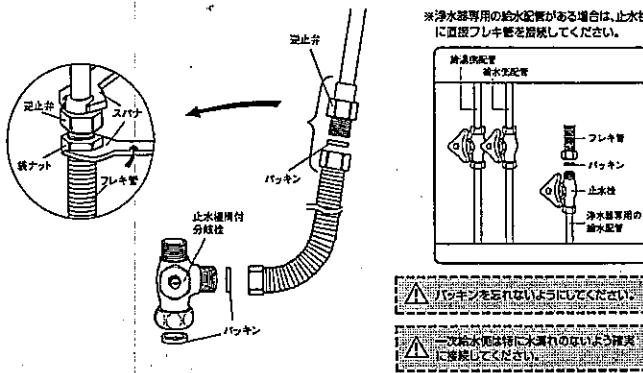
※施工事業者に依頼してください。

- ①給水・給湯元バルブを閉めます。 ②給水管に止水機構付分岐栓を取り付けてください。



③フレキ管を接続します。

- フレキ管を止水機構付分岐栓に取り付け、片方を浄水器一体型水栓の逆止弁のついている接続部に取り付けてください。
- フレキ管の袋ナットを取り付けるときは、浄水器一体型水栓の逆止弁の上部をスパナで十分に支えて、締め付けてください。



寒冷地における取り扱いについて (TJS-SUI-SNCの場合)

- 浄水器（含む水栓）は凍結のおそれがない所に設置してください。凍結のおそれがある時は凍結予防の措置を行ってください。

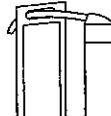
取り扱い法

- 凍結のおそれがある場合や冬季に長期間外出される場合、カートリッジを水栓本体より取り外し、カートリッジを凍結のおそれがない所に保管してください。この場合、カートリッジはビニール袋などに入れて密封し、冷蔵庫にて保管してください。
- 再使用時は必ず浄水を5分間以上流してから使用してください。

4. カートリッジ取付方法

据付時にはカートリッジを取り付けないでください。

実際に水栓を使うお客様に取り付けていただきます。



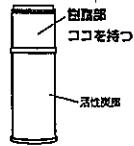
カートリッジが入ったビニール袋は水栓の吐水パイプに引っかけてください。

〈こんな時、カートリッジの目詰まりが早くなります。〉

- マシン等の給水設備が汚れているとき
- 古い家庭で配管が老朽化しているとき
- 水道工事などの一時的な水道水の汚れ
- 新しい配管でクリーニング不足のとき
- 水圧がいちじるしく低い場合
(集合住宅の上層階など)

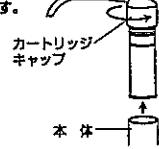
カートリッジは、必ず樹脂部を持って交換してください。

活性炭部に強い力や衝撃が加わると、折れたり、変形して性能が発揮されないことがあります。



カートリッジ交換は必ず水を止めてから行ってください。

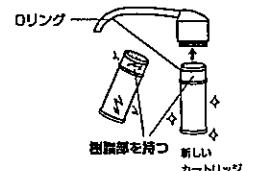
1. カートリッジキャップを回して本体からはずす。



3. レバーハンドルを上げて、約1分間水を出す。



2. 新しいカートリッジのOリング圈をカートリッジキャップに入れ、本体に取り付ける。



新しいカートリッジは、浄水器をお買い上げの販売店、代理店にご連絡ください。

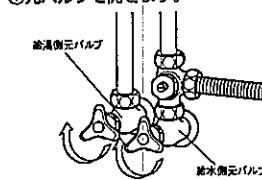
品番:TJS-TC-N13T

●使用済みのカートリッジは、地域で定められた条例に従って廃棄してください。

5. 最終点検(水漏れの確認)

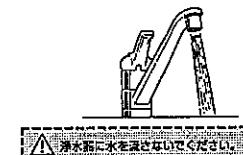
※施工事業者に依頼してください。

- ①元バルブを開きます。

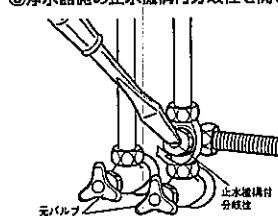


- ②配管内を洗浄します。

・貯留の混合水栓から水を十分に流してください。



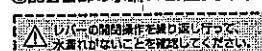
- ③浄水器側の止水機構付分岐栓を開きます。



- ④浄水レバーをゆっくり開きカートリッジに通水します。

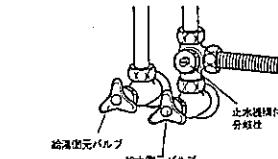


- ⑤配管各部の水漏れを確認します。



- ⑥流量の調整

・流量条件を確認のうえ、レバー全開で流量が得られるよう止水栓で調節してください。



6. 据付後の注意 (お客様にもよくご説明ください)

△注意

- 設置直後、浄水を1分間以上流してから使用してください。
- 毎日の使用開始時は、浄水を10秒以上流してから使用してください。
- 2日以上使わなかった時は、浄水を1分間以上流してから使用してください。
- 金属の配管ホース等へ塩分を含む調味料等が付着した場合は、固く絞った布で塩分が残らないように、ふき取ってください。
- 水栓の汚れはやわらかい布でふきとってください。
「水栓の表面をいためる恐れのあるもの」
・クレンザー、みかき粉など粒子を含んだ洗剤
・酸性洗剤、塩素系漂白剤
・ナイロンたわし、ブラシ等
・シンナー、ベンジン等の溶剤
等は使用しないでください。
- 水栓、ホース、カートリッジは酸性洗剤、塩素系漂白剤、酢等に接触させないでください。
- 水栓、ホース、カートリッジは分解などしないでください。
- 水道水を長期間使用しなかった場合や、赤水(濁り)が出ている時はカートリッジの寿命が短くなるため、しばらく水道水を流してから浄水をご使用ください。
- この据付説明書は「取扱説明書」とともにお客様にお渡しして、大切に保管していただきのように説明してください。手渡しできない場合、据付終了後、ビニール袋に入れてください。